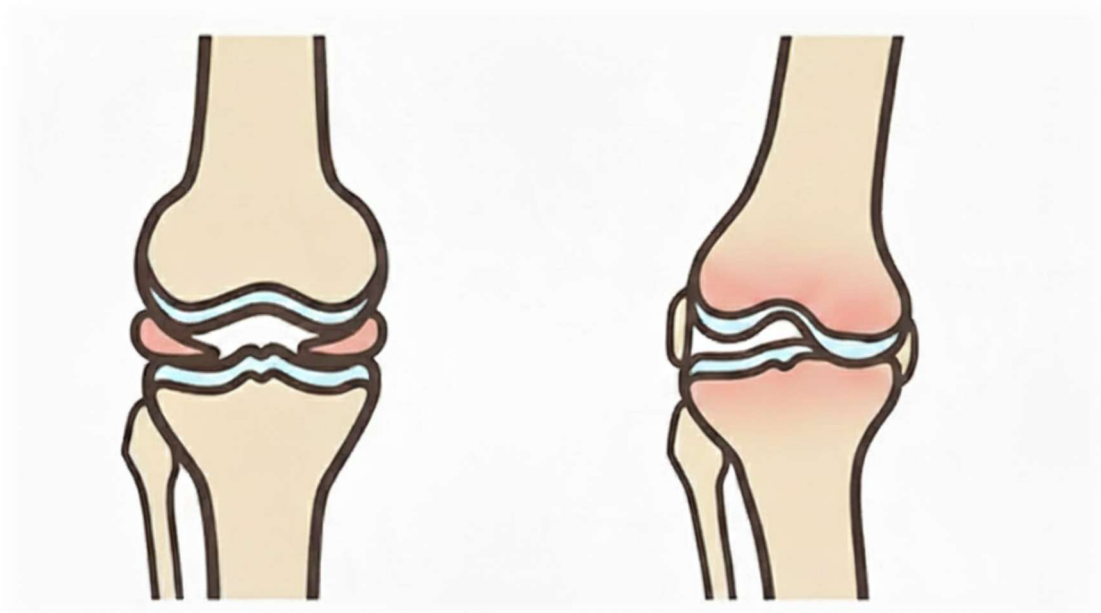


【対象疾患例】

膝関節

変形性膝関節症

変形性膝関節症は、膝の軟骨がすり減ることで、痛みや腫れ、可動域制限を生じる病気です。進行度に応じて治療法が異なります。



正常な膝

変形性膝関節症

保存療法

- 内服薬（消炎鎮痛薬など）
- 注射治療（ヒアルロン酸など）
- リハビリテーション

まずは体への負担が少ない方法から開始します。

バイオセラピー（PRP 療法）

患者さん自身の血液から抽出した「多血小板血漿（PRP）」を膝に注入し、炎症を抑え組織の修復を促す再生医療です。

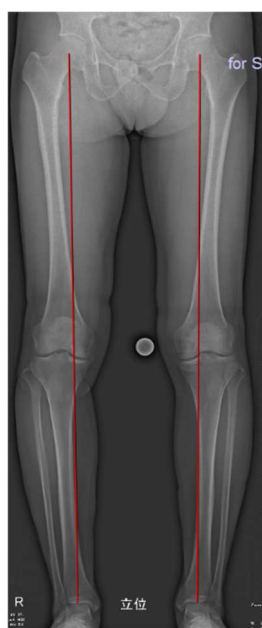
- 関節温存を希望する方
- スポーツ復帰を目指す方に適しています。

[※PRP 療法の PDF 参照 >>](#)

膝周囲骨切り術（Around the Knee Osteotomy）

膝の片側に集中している負担を調整し、膝の軸を整える手術です。

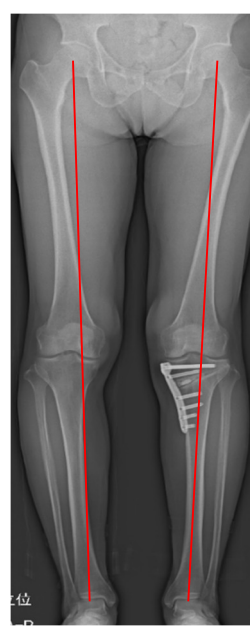
- 比較的若年～中年の活動的な患者さん
- 自分の膝をできるだけ長く温存したい方に適しています。



術前



術中



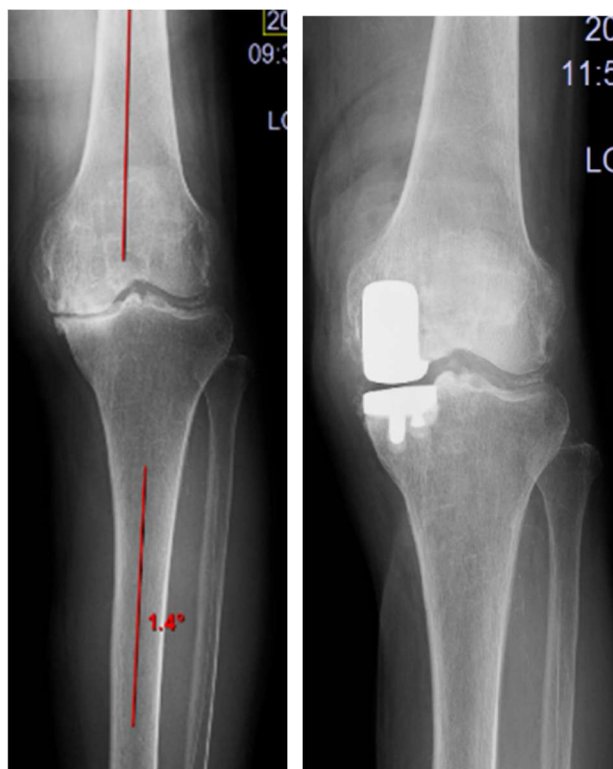
術後

人工関節置換術

進行した変形性膝関節症に対しては人工関節による治療を行います。

単顆型人工膝関節置換術(UKA)

膝の一部のみを人工関節に置換します。侵襲が小さく、自然な動きを残しやすいのが特徴です。

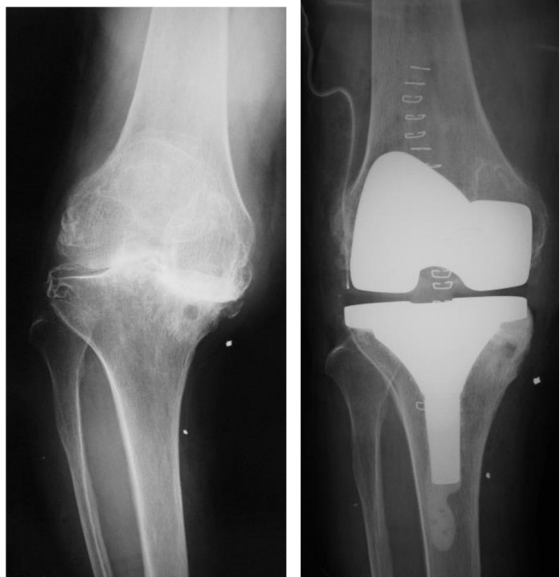


術前

術後

全人工膝関節置換術(TKA)

膝関節全体を人工関節に置換します。痛みの大幅な改善が期待できます。



術前

術後

スポーツ

(スポーツ外傷)

前十字靭帯損傷

前十字靭帯は膝の安定性を保つ大切な靭帯です。サッカーやバスケットボール、スキーなどでの急な方向転換やジャンプの着地で損傷することが多くみられます。

症状

膝の腫れ・痛み

「ガクッ」と崩れる不安定感

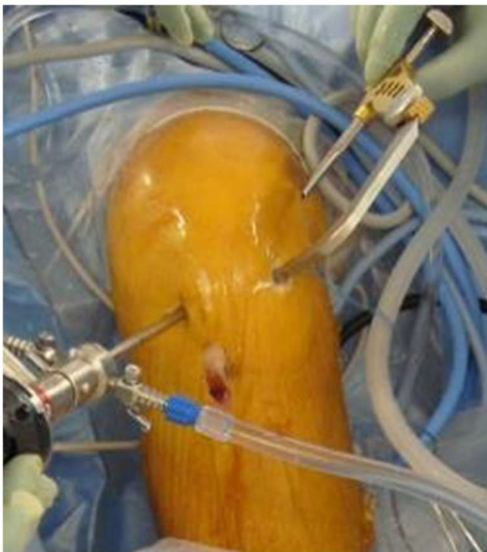
スポーツ復帰が難しくなることも

治療

保存療法（リハビリ中心）

手術療法（前十字靱帯再建術）

スポーツ復帰を希望される場合は、手術が選択されることが多いです。



関節鏡下前十字靱帯再建術

半月板損傷

半月板は膝関節のクッションの役割を持ち、体重や衝撃を和らげます。スポーツによるひねり動作や加齢による変性で損傷が起こります。

症状

膝の痛みや腫れ

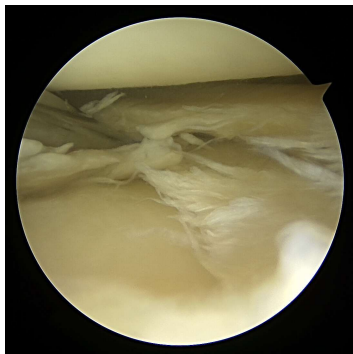
引っかかり感やロッキング（膝が動かなくなる）

長く放置すると変形性膝関節症につながることも

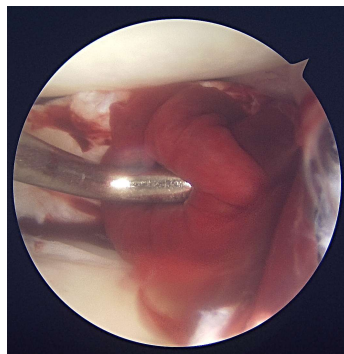
治療

保存療法（安静・リハビリ）

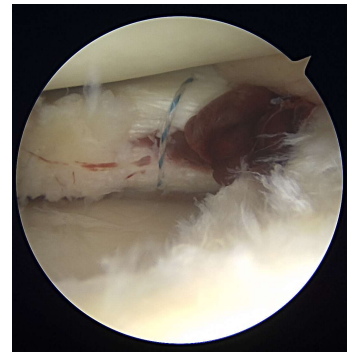
関節鏡手術（損傷部分の部分切除や縫合）



複合断裂



血餅の移植



縫合後

当院では、ACL 損傷・半月板損傷の診断からリハビリ、手術まで幅広く対応し、患者さんのライフスタイルや競技レベルに合わせた治療を行っています。

（成長期のスポーツ障害）

スポーツ障害とは、繰り返しの運動や負担によって関節・筋肉・靱帯などに痛みや損

傷が起こる状態です。成長期のお子さまからトップアスリートまで、幅広く見られます。

よくみられるスポーツ障害

疲労骨折：腰椎分離症、下腿骨、足部など

膝の障害：ジャンパー膝（膝蓋腱炎）、腸脛靭帯炎

肩・肘の障害：野球肩、野球肘

足・足首の障害：アキレス腱炎、疲労骨折、足関節捻挫

成長期特有の障害：オスグッド病、シーバー病

治療と予防

保存療法（安静・投薬・注射・リハビリ）

必要に応じた手術治療

再発予防のためのストレッチ・体幹トレーニング指導

当院では、スポーツ障害の正確な診断と再発予防を含めたリハビリに力を入れています。患者さんの年齢や競技レベルに応じて、安全なスポーツ復帰をサポートします。

【受診の流れ】

予約（電話受付 13:00～16:00）

初診時持参物（保険証・紹介状・検査データ）

診察・検査（必要に応じて MRI やエコーを追加）

治療方針決定（保存療法 or 手術）

リハビリ・復帰支援

【担当医】

神原俊一郎

科目：

整形外科一般

資格：

日本整形外科学会専門医

日本整形外科学会認定スポーツ医